



ポータブルPAシステム

# EON208P

## 取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。  
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

## 安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



### 警告

- AC100V 50/60Hzの電源で使用してください。これ以外の電源では火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外のもを使用すると火災の原因となります。また、電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。
- ポールマウントする場合は、十分な転倒/落下防止策を施し、定期的に保守点検を行ってください。転倒/落下によるけがや故障の原因となります。設置場所/器具の強度不足や設置方法の不備、経年劣化など、商品の不良以外の原因で発生した事故に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- EON208Pのスピーカーとパワー・ミキサーは、必ずセットで使用してください。パワー・ミキサーのマスター出力端子をEON208P以外のスピーカーと接続しないでください。また、EON208Pのスピーカーと他の機器を接続しないでください。火災や感電の原因となります。



### 注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。
- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒/落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。
- 以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。
  - ・ 直射日光の当たる場所
  - ・ 温度の特に高い場所、または低い場所
  - ・ 湿気が多い場所
  - ・ ほこりの多い場所
  - ・ 振動の多い場所
  - ・ 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 通気性の良い場所に設置し、通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
- 機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。けがや故障、ケーブル破損の原因となります。
- 配線は、全ての機器の電源コードをコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。電源コードを差し込んだまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- スピーカーの破損を防ぐため、電源を入れる時は一番最後にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切る時は一番最初に電源を切ってください。
- 電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

# 使用上のご注意

## 電波に関する注意

- ・ 本機と端末との Bluetooth 接続による通信可能な距離は約 10m です。2.4GHz 帯の周波数を使用しているため、「本機と端末との間に障害物がある場合」「本機や端末を直接地面や床に置いた場合」「雨天時の屋外で使用した場合」「他の電波を発信する機器が使用されている場所で使用した場合」では、通信距離が短くなったり、通信が途切れる可能性があります。上手く動作しない場合は、障害物を取り除くか、使用場所を変更してください。
- ・ 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・ 本機を分解 / 改造すること。
  - ・ 本機に貼ってある証明番号が印刷されたラベルをはがすこと。
- ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局（以下「他の無線局」）が運用されています。他の無線局との電波干渉を防止するために、以下の事項に注意してご使用ください。
  1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、運用を停止してください。
  3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、以下の連絡先へお問い合わせください。

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.  
カスタマーサポート TEL : 03-5783-3110

# 目次

安全上のご注意.....	P.2
使用上のご注意.....	P.3
目次.....	P.3
梱包内容の確認.....	P.4
各部の名称	
システム収納時.....	P.5
スピーカー、パワー・ミキサー .....	P.6
設置と接続 .....	P.6
コントロールパネル.....	P.8
ブロックダイアグラム.....	P.11
仕様.....	P.12

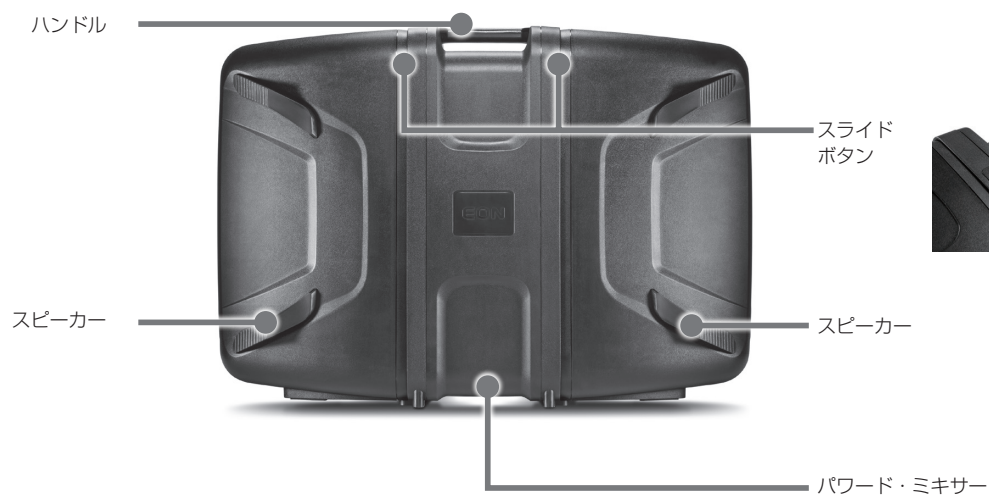
## 梱包内容の確認

パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- スピーカー×2
- パワード・ミキサー×1
- アンシールドのスピーカー・ケーブル (約 4.5m) × 2
- AKG 製ダイナミック型マイクロホン× 1
- マイクホルダー× 1
- マイクポーチ× 1
- マイクロホン・ケーブル (約 4m) × 1
- 電源コード× 1
- 和文取扱説明書

## 各部の名称

### ▶ システム収納時



## ▶ スピーカー

前面



背面



## ▶ パワード・ミキサー

コントロールパネル側

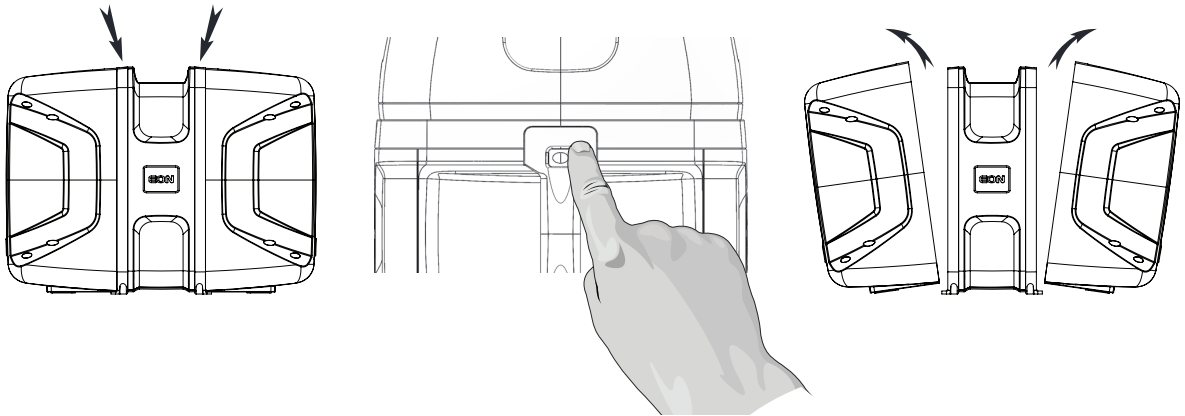


電源端子側

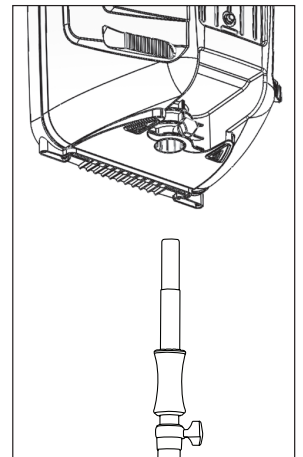
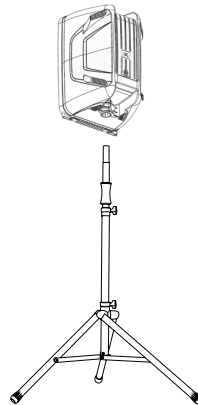


## 設置と接続

1. EON208P を外箱から取り出します。
2. 矢印の箇所のスライドボタンを押して、中央のパワード・ミキサーからスピーカーを取り外してください。取り外しは安全のため、片方ずつ行ってください。スライドボタンを押すと、スピーカーがパワード・ミキサーから分離します。

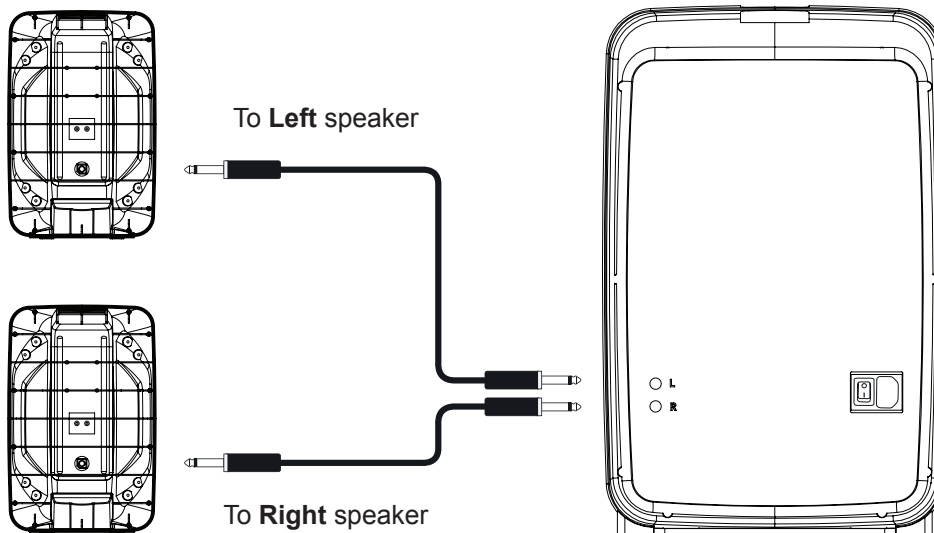


3. スピーカー底面には、ポールソケットを装備しています。スピーカースタンドなどを利用して設置してください。(スピーカースタンドは別売りです)。



4. パワード・ミキサーとスピーカーを接続します。

パワード・ミキサーの電源端子側に、2つの標準フォーンジャックがあります。これは、EON208Pのスピーカー専用のマスター出力端子です。付属のスピーカーケーブルを使用し、パワード・ミキサーのマスター出力端子とスピーカー入力端子を接続してください。



**注意**

- EON208Pのマスター出力端子は電力を通じているので、他の機器を接続すると機器を傷める可能性があります。必ずEON208Pのスピーカーを接続し、他の機器は接続しないでください。
  - ケーブルは、必ず付属のアンシールドのスピーカーケーブルをご使用ください。
5. 音声信号を入力する機器をパワード・ミキサーに接続します。入力端子については、8ページのコントロールパネルを参照してください。
  6. 付属の電源コードをパワード・ミキサーの電源端子に接続し、オス側を壁のコンセントに接続します。コントロールパネルのMASTER VOLUMEつまみが左に絞り切り（出力レベルが最小）になっていることを確認してください。
  7. 電源スイッチをONにしてください。コントロールパネルのPOWERインジケーターが点灯したら準備は完了です。MASTER VOLUMEで出力レベルを調整すると増幅した信号を聞くことができます。

**収納するとき**

収納するときは、パワード・ミキサー底部の溝にスピーカー底部の突起をはめてください。

スライドボタンを押し下げながら、しっかりスピーカーを押し込んでください。



# コントロールパネル

## ▶ 基本

パワード・ミキサーには、ミキシングボードとパワーアンプを格納しています。その操作を行うのがコントロールパネルです。コントロールパネルは以下の5つのセクションとサブウーファー出力に分かれています。

### 入力セクション

音声信号を入力します。マイクロホン、楽器、MP3 プレイヤー、CD プレイヤーなどを接続することができます。

### Bluetooth セクション

Bluetooth 対応機器とペアリングします。ペアリングした端末から Bluetooth による音声入力（オーディオストリーミング）が可能です。

### モニター出力セクション

入力信号をルーティングし、出力します。録音機器や追加のスピーカー（例えばモニタースピーカー、FOH への拡声用など）に使用できます。

#### 備考

- 追加のスピーカーへの出力として使用する場合は、別途パワーアンプをご用意ください。

### ヘッドホン出力セクション

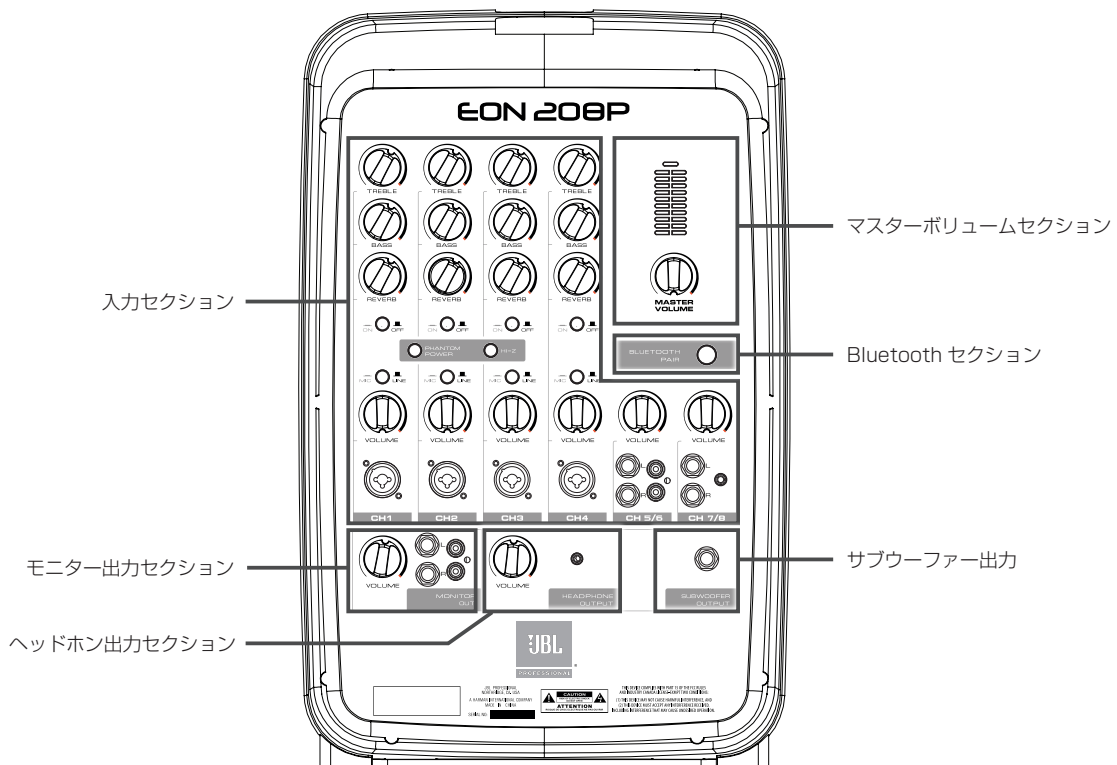
ヘッドホン用の出力レベルを調整します。

### サブウーファー出力

サブウーファーへの拡張に使用します。

### マスターボリュームセクション

スピーカーの出力レベルを調整します。また、POWER インジケーターと LIMIT インジケーターで、動作状況を確認できます。





## ▶ 入力セクション

入力セクションは、音声信号の入力端子と、信号を調整するつまみ等が配置されています。入力信号はミキシングボードの調整を経て、パワーアンプで増幅されてスピーカーから出力されます。

### 1. マイク/ライン入力端子 (CH1 ~ CH4)

バランス仕様の XLR 端子と標準フォーンジャックの複合端子です。マイクレベルまたはラインレベルの信号を入力できます。CH1 ~ CH4 に入力する信号に対し、チャンネルごとに以下の調整・設定が可能です。

#### a. TREBLE つまみ

高域にシェルビング・フィルターを適用し、高域の量を調整します。右にまわすと高域が強調されます。反対に、左にまわすと印象が弱くなります。調整しない場合(フラット)は、つまみを中央の位置に設定してください。

#### b. BASS つまみ

低域にシェルビング・フィルターを適用し、低域の量を調整します。右にまわすと低域が強調されます。反対に、左にまわすと印象が弱くなります。調整しない場合(フラット)は、つまみを中央の位置に設定してください。

#### c. REVERB つまみ

リバーブ・エフェクトの量を調整します。右にまわすとリバーブ(残響)の量が増えます。反対に、左にまわすと少なくなります。リバーブ・エフェクトを使用しない場合は REVERB ON/OFF スイッチを OFF にしてください。

#### d. REVERB ON/OFF スイッチ

リバーブ・エフェクトの ON/OFF を行います。ON にすると、REVERB つまみで設定した量のリバーブ・エフェクトを適用します。

#### e. MIC/LINE 切替スイッチ

マイクレベルとラインレベルを切り替えます。接続機器に合わせて選択してください。

#### f. VOLUME つまみ

チャンネルのレベルを調整します。

#### g. PHANTOM POWER ON/OFF スイッチ (CH1/2 のみ)

CH1 と CH2 にファンタム電源を供給します。コンデンサー・マイクロホンに接続する場合に ON にします。

#### h. HI-Z ON/OFF スイッチ (CH3 のみ)

CH3 のライン入力を HI-Z 入力対応に切り替えます。エレクトリック・ギターなどのハイ・インピーダンスの楽器を接続する場合に ON にします。

### 2. 入力端子 (CH5/6、ステレオ)

標準フォーンジャック、または RCA の端子です。ステレオの音声信号を入力します。標準フォーンジャックは電子ピアノや電子ドラムマシン、RCA 端子は MP3 プレーヤーや CD プレーヤーなどのステレオ音源の入力に利用できます。

### 3. CH5/6 用 VOLUME つまみ

CH5/6 のレベルを調整します。

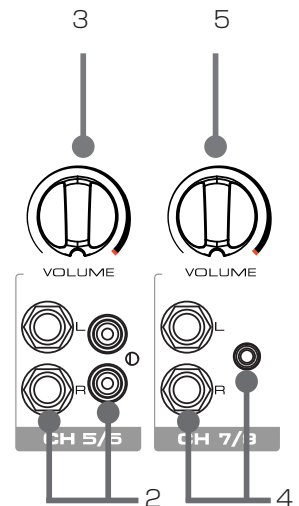
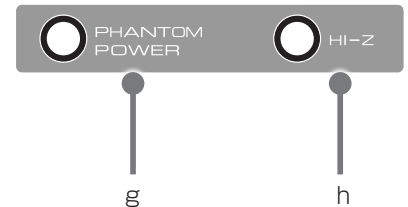
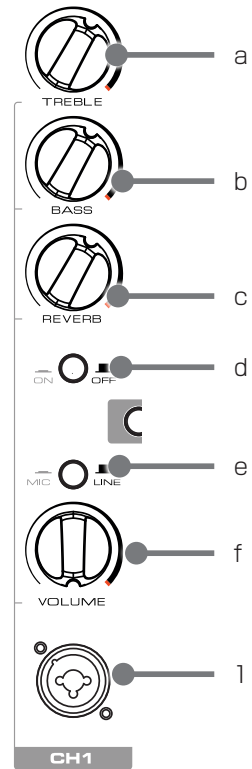
### 4. 入力端子 (CH7/8、ステレオ)

標準フォーンジャック、または 3.5mm ミニフォーンジャックの端子です。ステレオの音声信号を入力します。標準フォーンジャックは電子ピアノや電子ドラムマシン、3.5mm ミニフォーンジャックはパーソナルミュージックプレーヤーなどの接続に利用できます。

### 5. CH7/8 用 VOLUME つまみ

CH7/8 のレベルを調整します。

※ 3.5mm ミニフォーンジャックからの入力レベルの調整は、接続機器側で行ってください。



## ▶ Bluetooth セクション

### 6. BLUETOOTH PAIR ボタン

Bluetooth 対応端末とペアリングを行います。まず、本機の BLUETOOTH PAIR ボタンを押して、Bluetooth 機能を有効にしてください。次に端末の Bluetooth 機能で “EON208P” を検出し、接続してください。



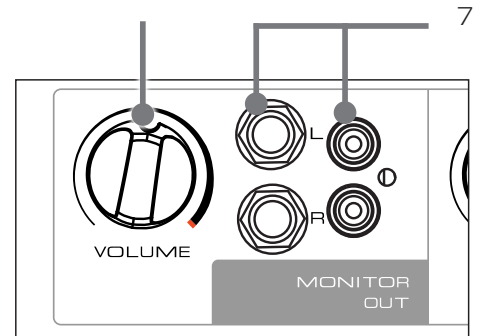
## ▶ モニター出力セクション

### 7. MONITOR OUT 出力端子

標準フォーンジャック、または RCA の端子です。入力信号をルーティングして出力します。これらの出力は、パーソナルモニターをはじめ、レコーディング機器、その他の PA システム（FOH など）の拡張用に利用できます。

### 8. MONITOR OUT 用 VOLUME つまみ

モニター出力のレベルを調整します。



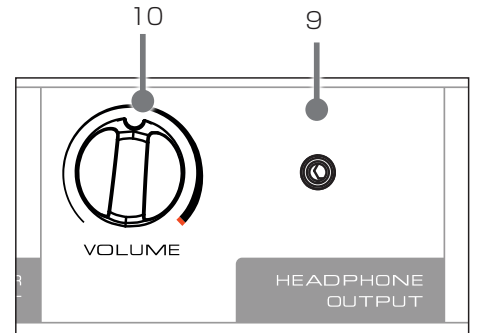
## ▶ ヘッドホン出力セクション

### 9. HEADPHONE OUTPUT 出力端子

3.5mm ミニフォーンジャックの端子です。マスター出力信号を出力します。ヘッドホンを接続してください。

### 10. HEADPHONE OUTPUT 用 VOLUME つまみ

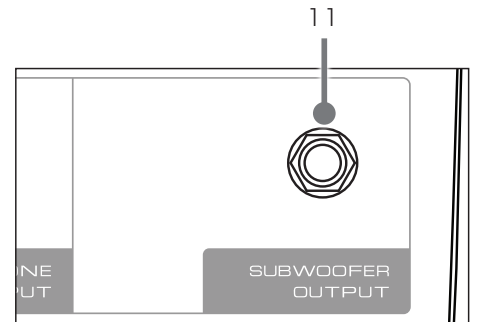
ヘッドホン出力のレベルを調整します。



## ▶ サブウーファー出力

### 11. SUBWOOFER OUTPUT 出力端子

標準フォーンジャックの端子です。サブウーファーへの拡張に使用します。



## ▶ マスターボリュームセクション

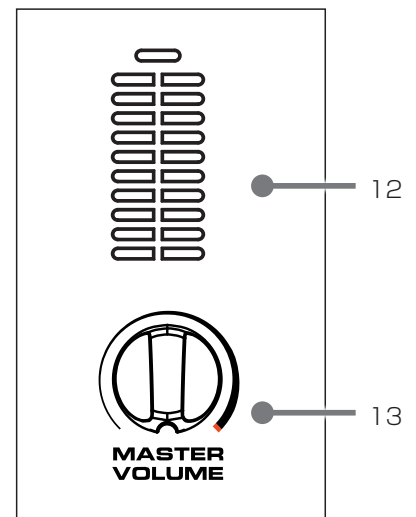
### 12. マスターボリュームメーターと LIMIT インジケータ

マスターボリュームメーターは、スピーカー出力のレベルをチャンネルごとに表示します。Limit インジケータは、スピーカー出力が最大出力レベルに近づいてリミッターが作動すると黄色に点灯します。

点灯しないように MASTER VOLUME つまみ、またはチャンネルの VOLUME つまみでレベルを下げて調整してください。

### 13. MASTER VOLUME つまみ

スピーカー出力のレベルを調整します。

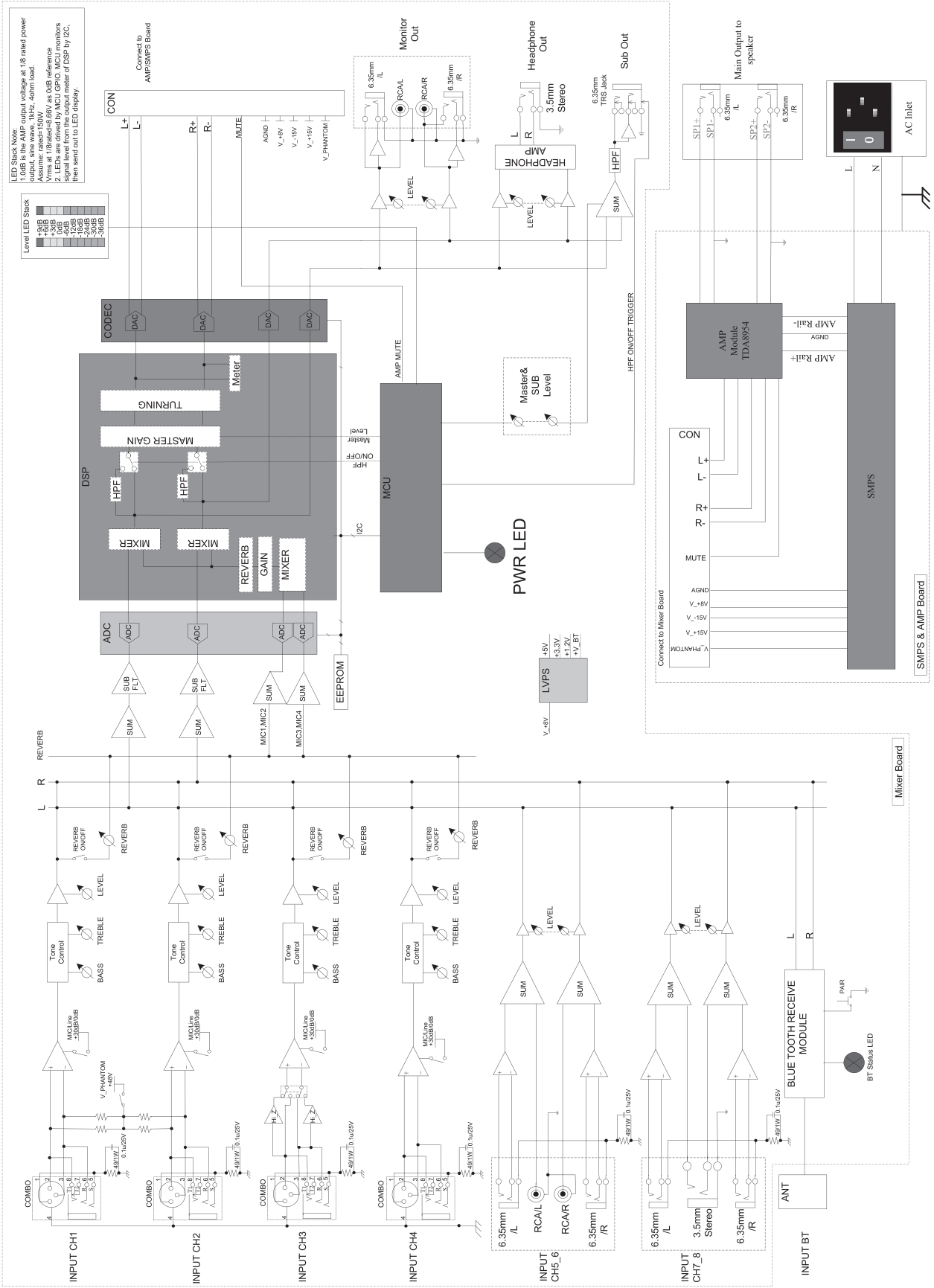


# ブロックダイアグラム

LED Stack MCU  
1.008 to AMP output voltage at 18 rated power  
output, sine wave, 1kHz, 400m load.  
Assume: rated=150W  
V<sub>+</sub> 0dB  
V<sub>-</sub> 0dB  
2 LEDs are driven by MCU GPIO. MCU monitors  
signal level from the output meter of DSP by I2C,  
then send out to LED display.

Level LED Stack

+9dB
+3dB
0dB
-3dB
-9dB
-15dB
-21dB
-27dB
-33dB



# 仕様

## システム共通

周波数レンジ (-10dB)	60Hz ~ 20kHz
最大音圧レベル	121dB SPL(ピーク)
電源	AC100V、50/60Hz
エンクロージャー	ポリプロピレン製、黒
寸法 (W × H × D)	658 × 465 × 301mm(連結時)
質量	16kg(連結時、本体のみ)
付属品	スピーカー・ケーブル(約4.5m) × 2、AKG製ダイナミック型マイクロホン、マイクホルダー、マイクポーチ、マイクロホン・ケーブル(約4m)、電源コード、和文取扱説明書

## パワード・ミキサー部

入力	チャンネル数	8(4モノラル+2ステレオ)
	端子・形式	ch1~4: XLRと標準フォーン(3P)対応の複合型端子 ch5/6: 標準フォーン(3P)またはRCA ch7/8: 標準フォーン(3P)またはステレオ・ミニフォーン
出力	端子・形式	モニターL/R: 標準フォーン(3P)またはRCA ヘッドホン: ステレオ・ミニフォーン サブウーファー: 標準フォーン(3P) スピーカーL/R: 標準フォーン(2P)
イコライザー		高域/低域: ±12dB、シェルビング
パワーアンプ		300W(150W × 2)、Class D
寸法 (W × H × D)		301 × 465 × 206mm
質量		4.7kg(本体のみ)

## スピーカー部

形式	2-Way フルレンジ	
指向角度 (水平×垂直)	100° × 60°	
ドライバー構成	LF	8インチ(203mm)
	HF	1インチ(25mm)
クロスオーバー周波数	2kHz	
寸法 (W × H × D)	296 × 457 × 259mm	
質量	5.7kg	

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

# HIBINO

<http://www.hibino.co.jp/>  
E-mail: [proaudiosales@hibino.co.jp](mailto:proaudiosales@hibino.co.jp)

## ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部  
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12  
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111  
札幌オフィス  
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20  
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ブランチ  
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8  
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891  
名古屋オフィス  
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26  
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ブランチ  
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6  
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509